

上野地区

精進川浅間神社と「精進舎」

精進川浅間神社には、精進川の氏神が祀られています。『富士郡神社銘鑑(1929年刊行)』には、精進川村内にあった浅間神社、熊野神社、八幡宮を、文政5(1822)年に合祀^{ごうし}し、社殿を造営したことが書かれています。

現在も境内には、瘡守稻荷大明神^{かさもりいなり}*2や天明4(1784)年、享和元(1801)年と記された石灯籠が残っており、祭礼の時には、鳥居の前には「熊野大神宮」「浅間大神宮」「八幡大神宮」の幟^{のぼり}が立てられます。

- ※1 複数の神や霊を一つの神社に祀ること。
- ※2 抱瘡(天然痘)などの伝染病から地域を守るために祀られるもの。



鳥居の前の幟



歩く博物館 Bコース<上野地区>
石造物をたずねるコース

市役所6階文化課、郷土資料館(文化会館内)、出張所または市公式ウェブサイトなどにあります。

HP トップページ>市民の皆さんへ>教育・文化・スポーツ>郷土資料館>歩く博物館



境内に建てられた「精進舎」

明治5(1872)年、政府が学制^{※3}を定めたため、全国各地に小学校が創立されました。

市内では、当時の上条村・下条村・精進川村・馬見塚村を学区とした小学校「芙蓉館」が上野地区に創立されました。

『富士宮市史 下巻(1986年刊行)』には、明治8(1875)年頃に「芙蓉館」から独立し、精進川浅間神社の境内に「精進舎」が創立されたことが書かれています。当時の富士郡^{※4}では、神社や寺の建物が学校の校舎に多く転用されていましたが、「精進舎」は珍しい洋風建築の校舎でした。

明治18(1885)年に「精進舎」は廃校となり、現在は境内に「精進舎趾」の石碑が残されています。

- ※3 日本最初の学校教育に関する制度で、大・中・小の各学区制により、各学区に一つずつ学校を設けようとした。
- ※4 現在の富士宮市と富士市のほとんどの地域。



当時の「精進舎」



石碑「精進舎趾」

歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

- 料 500円
- 申 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で
- 他 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。
- 問 文化課 ☎22-1187
✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

有料
ガイドブック

